

温室効果ガス削減のための基本方針、実績

- 2050年までにカーボンニュートラルを超えたカーボンマイナス、さらに地下資源の消費ゼロを掲げて取り組みを進めています。
- 脱炭素に向けた重要な施策として、生産革新、設備更新、再エネ活用を実施、2030年にスコープ1・2排出量ゼロを目指しています。

■環境ビジョン2050 (2021年3月改定)

2050年に「カーボンマイナス」と「地下資源*1消費ゼロ」を達成し、持続可能でこころ豊かな社会を実現する

*1 原油、金属などの枯渇性資源

達成目標

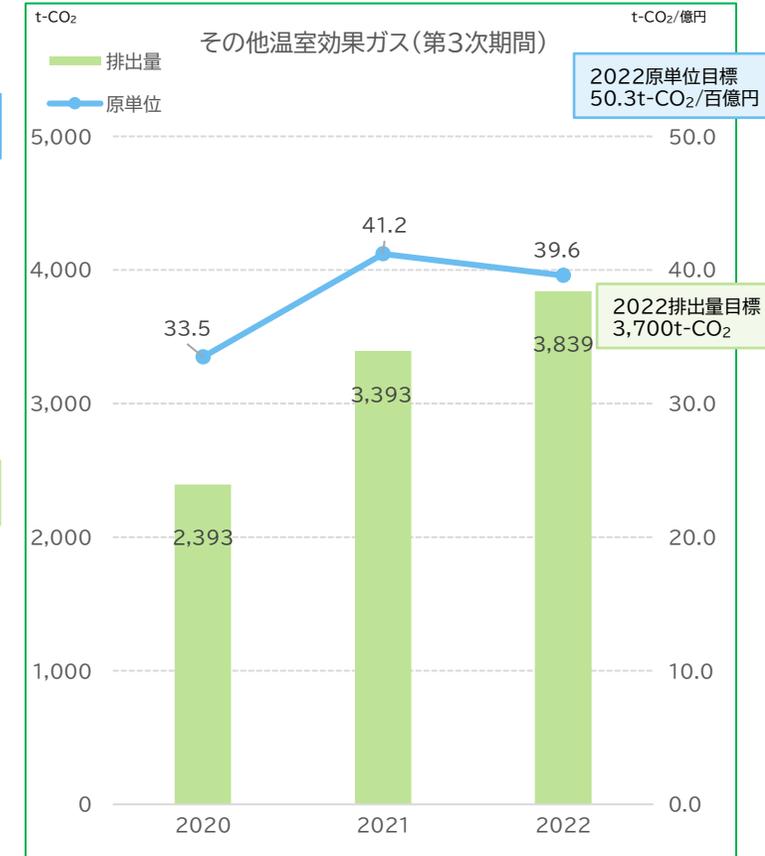
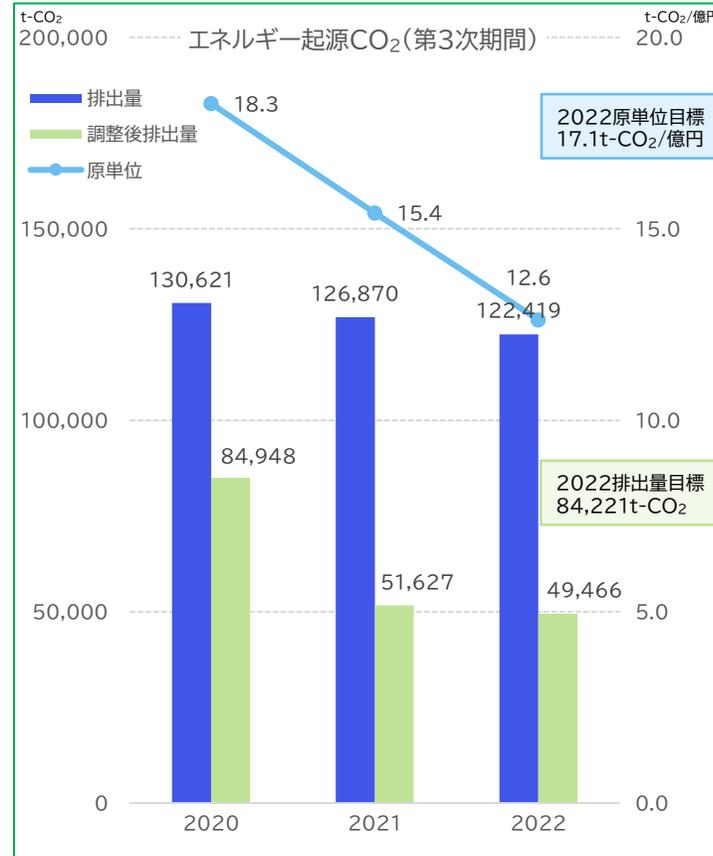
- 2030年：1.5℃シナリオ*2に沿った総排出量削減
- 2050年：「カーボンマイナス」、「地下資源*1消費ゼロ」

アクション

- 商品・サービスやサプライチェーンにおける環境負荷の低減
- オープンで独創的なイノベーションによる循環型経済の牽引と産業構造の革新
- 国際的な環境保全活動への貢献

*1 原油、金属などの枯渇性資源
*2 SBT(Science Based Targets initiative)のクライテリアに基づく科学的な知見と整合した温室効果ガスの削減目標

■第3次計画期間(R2~R4)実績



■中期環境活動計画の主要な施策とロードマップ

■中期環境活動計画の主要な施策とロードマップ

脱炭素

2030年目標：スコープ1・2排出量ゼロ

- スコープ1(燃料系)：電化、脱炭素燃料転換
- スコープ2(電気)：再エネ化、地域・自社の発電拡大

2030年目標：総排出量55%削減*3

資源循環

2030年目標：サステナブル資源率50%

- 主要材料(プラ・金属)のサステナブル資源化

共通施策

- 商品小型・軽量化、消耗品・交換部品の削減
- 商品省エネ化
- 戻り品再販売、使用済み製品再整備、リフィル
- 長期使用ビジネスモデル化
- サプライヤーエンゲージメント(再エネ・再生材)
- 生産ロス極小化、温暖化物質削減

お客様のもとでの環境負荷低減

- 社会の環境負荷低減に資する製品・サービスの拡大

【社会動向注視】
脱炭素燃料(グリーン水素、メタネーションなど)技術開発、CO₂回収-DAC(分離膜、固定化)、SBT/ネットゼロ基準

【独自技術の強み】
環境技術開発
共創で実現

【再生自己調達拡大】
・サプライヤー再エネ導入
・電力係数改善 など

・90%以上排出削減
・CO₂除去
=カーボンマイナス

・プラ再生材・バイオマス化
・金属再生材
・再生利用、リフィル など

サステナブル資源率 100%

総量削減
= 地下資源消費ゼロ

*3 2017年比のスコープ1、2、3排出量

➢ エネルギー起源のCO₂排出量は再生可能エネルギーの活用により目標達成

➢ その他温室効果ガス排出量は目標未達

温室効果ガス削減のために実施してきた具体的な取組や効果

■第3次計画期間(R2～R4)の主な施策

内容		削減量(t-CO ₂)
省エネ	生産冷却水廃熱回収	370
	排ガスボイラー稼働率向上	344
	省エネタイプへ設備更新	279
	構内照明のLED化	190
	エアドライヤ運転最適化	87
燃料転換	ボイラー燃料切り替え	125

諏訪南事業所 ユーティリティ設備の省エネ活動 「2024年度省エネ大賞 資源エネルギー庁長官賞」受賞

<https://corporate.epson/ja/news/2024/241216.html>

主な取り組み(2018～2023年)

- 既存設備運用変更による省エネ化
例:生産用クリーンルームファンフィルターユニット間引き
- 未利用熱利用
例:町水(上水)の未利用熱活用
- 設備更新時の電化
例:製造クリーンルーム空調機設備電化更新

エネルギー削減量:2,846kL(原油換算)
CO₂削減量:4,745t-CO₂



■再生可能エネルギーの活用

2021年4月
長野県内再生可能エネルギー化完了

2021年11月
国内再生可能エネルギー化完了

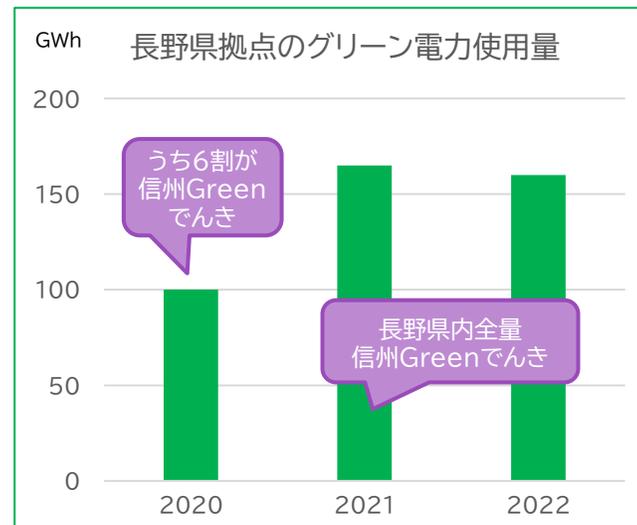
2018年
・長野県100GWh活用開始
- 中部電力の水力

2021年4月
・長野県内完了
- 長野県公営水力発電

2021年10月
・東北エリア完了

2021年11月
・全ての日本国内拠点完了
- 一部証書活用

2023年12月
・グローバルの拠点で再エネ化完了



➤ 継続的な信州Greenでんきの活用により新規の電源開発を直接支援し普及拡大に貢献 (信州Green電源拡大プロジェクト)



<https://corporate.epson/ja/news/2023/230201.html>

■オンサイト太陽光発電の拡大



富士見事業所PPA開始(2022年)

- パネル容量:549kW
- 年間発電量:約667MWh(一般世帯約150戸分)
- CO₂排出量約253トン(年間)相当